

【令和5年度 授業改善推進プラン】(国語)

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の読み取りの学習では、登場人物の気持ちや情景を、叙述をもとに想像して読むことができる児童が多い。 ○ 読書を好む児童が多い。特に学習漫画や図鑑を好んで読む児童が多い。 ▲1 文章を要約したり、考えを文章に書いたりすることに苦手意識をもつ児童が多い。 ▲2 漢字の習得は、苦手な児童もいる。 ▲3 自分の考えを筋道立てて発表することが苦手な児童が多く、発言する児童が限られてしまっている傾向がある。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▲1 に対する指導上の課題 自分の考えを明確にもてることや、段落相互の関係などに着目して文章を構成できることが課題である。 ▲2 に対する指導上の課題 ミニテストを行うなど、習得状況を確認することが不十分である。 ▲3 に対する指導上の課題 相手意識をもって分かりやすく説明し、話す力を身に付けられるようにするための指導が不十分である。
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▲1 に対する具体的な方策 ➡ムーブノートを活用して、友達のノートを画面上で見て参考にしながら自分の考えをもてるように環境を整える。 ▲2 に対する具体的な方策 ➡定期的にミニテストを行い、漢字の定着度を把握し、必要に応じて課題を設定する。 ➡日頃から辞書引きや音読、読書を習慣づけ、語彙力を豊かにする。 ▲3 に対する具体的な方策 ➡「話し合いヒントカード」を活用し、友達の発言に対して、反応（言葉や動きなど）するように指導する。 ➡日頃から友達の話聞くとき（目と体を向けてなど）のルールを徹底する。 ➡友達の意見を聞いて考えを深めていく話し合いの活動を積極的に行う。また、小グループ（2～3人）で話し合う時間も設け、楽しみながら対話する活動も習慣付ける。 ➡自分たちで話し合うことで、問題が解決したり、何かを決定したりする喜びを児童が実感できるように環境を整える。

【令和5年度 授業改善推進プラン】(社会)

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3、4年生は、自分の身近な場所や生活に深く関わりがある内容への関心、意欲が高い。その一方で、学区域外の内容になると、関心が薄れてしまう様子がある。 ○ 5、6年生は、全国的な地理や歴史、世界にも興味、関心を広げている児童が多い。 ▲1 地図や資料や写真、表、グラフなどから必要な情報を読み取る力が弱い。 ▲2 知識としては定着している児童が多い。一方でそれをもとに自分の考えを表現する力（アウトプット）に課題がある。
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1に対する指導上の課題 中学年段階における関心を学区域から区、都へと広げていくためのステップが不十分である。また、資料から必要な情報を的確に読み取る指導が不十分である。</p> <p>▲2に対する指導上の課題 事実と事実を関連付けて、自分の考えをまとめていくための指導が不十分である。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡写真資料や動画をより多く活用することで、具体的なイメージを膨らませていく。 ➡教室に地図を掲示するなど、日常的に地図に触れる機会を増やす。 ➡テストの解き直しの際に、問題文や資料をどのように読み取り、どのように考えたかを全体共有する場を設ける。 ➡資料の読み取り方を項目ごと（グラフの縦軸が何を示しているか、違いや共通点は何かなど）一つ一つ丁寧に確認する。 ➡資料について気付いたことをペアやグループで話し合う機会を設けることで、より多くの児童が考えたことを言語化できるようにする。 <p>▲2に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡1単位時間授業の中で、インプットとアウトプットのどちらもできるようにすることで、知識として理解することにとどまらず、言語化したり、聞かれた内容に答えたりする実践的な力を育む。 ➡調べて分かったことを発表する際には、事実と関連付けて発表したり板書したりすることで、相互関係が見えるようにする。

【令和5年度 授業改善推進プラン】(算数)

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<p>○ 計算領域の基礎・基本にかかわる事項に関してはおおむね定着している。</p> <p>▲1 既習事項を使って取り組む力に関しては個人により差が見られる。また文章問題の意味を正しく理解できず、正しく立式することができない児童が各学年に見られる。</p> <p>▲2 考えを式や図、数直線などに書き表したり、説明したりすることに苦手意識をもっている児童が多い。</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1に対する指導上の課題 前学年の既習事項を理解していない場合に復習の時間を十分に確保できていない。</p> <p>▲2に対する指導上の課題 児童の思考を助けるため、図や数直線などの指導が不十分である。 また互いの考えを比較し、計算の意味を説明したり、図や数直線を用いて自分の考えを表現したりするための指導が不十分である。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡児童の課題に合わせて補習の時間で学習する内容を選び、基礎・基本の学力の定着を図っていく。 ➡基礎コースでは、既習事項の復習の時間を十分に確保し確認しながら学習を進る。 ➡ドリルパークを活用して、宿題など毎日継続して基礎・基本の問題に取り組み、基礎的な学習内容の定着を図る。 <p>▲2に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡問題の解き方や考え方を説明する場面では、自分の意見を発表できるようにする。そして、友達意見を聞いてどのように考えれば良いか分かるようにする。 ➡文章問題において、「分かっていること」「問い」を常に確認することを意識しながら指導を進めていく。 ➡ムーブノートなどを活用することにより、考え方を見合うことを通して思考の幅を広げていけるようにする。

【令和5年度 授業改善推進プラン】（理科）

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動植物や自然の事物、現象を観察したり実験したりすることに対して、関心をもって進んで取り組む児童が多い。 ○ 授業中以外にもメダカの飼育や植物の水やり等の仕事に責任をもち、クラスで協力しながら動植物を育てることができている。 ▲1 中学年は、実験の「結果」と「考察」の違いを理解して取り組むことができる児童が一部に限られている。 ▲2 全学年、科学的思考について個人差があり、事象を深く考え、そこから新しい疑問をもち、追究していこうとする児童は、あまり多くない。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▲1に対する指導上の課題 「結果」と「考察」の違いを理解できるよう段階を踏んで指導することが不十分である。 予想に対する考察をする場面で、よりよい考えにまとめるための支援が不十分である。 ▲2に対する指導上の課題 既習の内容や生活経験を取り上げた話し合い活動が不十分である。 観察結果から得られた知識を自分の言葉で表現する指導が不十分である。
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▲1に対する具体的な方策 ➡「結果」と「考察」の違いを理解できるように「分かったこと」と「考えられること」というような、分かりやすい言葉に置き換えて段階的に指導していく。 ▲2に対する具体的な方策 ➡自然の事物や現象を比較し、その差異点や共通点を捉える活動経験を重ねる。 ➡観察や実験の結果を全体で共有する活動を通して、正しい知識を習得し、理解を深める。

【令和5年度 授業改善推進プラン】(体育)

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<p>○ 進んで体を動かし、運動を好む児童が多い。</p> <p>▲1 投・走・跳の運動や器械運動など個々の技能の習得の度合いに違いがあり、苦手意識をもっている児童がいる。</p> <p>▲2 チームでゲームを行う経験が不足しており、勝敗に過度にこだわる児童が多い。</p> <p>▲3 体力テストの結果から、ソフトボール投げや長座体前屈に課題がある児童が多い。</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1 に対する指導上の課題 個に応じた指導や基礎的な技能の習得に十分時間をとることができていない。 それぞれの運動能力に応じた適切な目標設定と、上達のコツが分かるような資料の提供ができていない。</p> <p>▲2 に対する指導上の課題 チームとしてのめあてをもって取り組み、勝ち負け以外のことで上手くいったことや、成長した点を互いに見付けて励まし合う場を設定することができていない。</p> <p>▲3 に対する指導上の課題 体を思い通りに動かせるよう、様々な動きを取り入れた運動を行うことができていない。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1 に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡ルールや技能のコツを視覚化して学習カードを配り、自分のめあてを明確にもたせて、技能が向上することの楽しさや大切さを感じることができるようにする。 ➡スモールステップで技能習得の段階に応じた場の設定や指導を増やし、技能の高まりを実感できるようにする。 <p>▲2 に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡勝敗だけでなく友達の動きのよさに目を向けられるように指導する。 ➡グループ活動を増やし、チームで作戦を立てて実践したり、グループでの振り返りを次時に活かしたりして、チームやグループで動く経験を増やしていく。 <p>▲3 に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡1・2学年下の指導内容をウォーミングアップに取り入れるなどして、中・高学年も基礎的な動きから習得を図る。 ➡運動が苦手な児童も楽しめる運動を準備運動に取り入れたり、単元に関する補助運動を取り入れたりする。

【令和5年度 授業改善推進プラン】（音楽）

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合唱や合奏などの演奏活動に意欲的に取り組む児童が多い。 ○ 力まない自然な声で歌おうとする児童が増えてきた。 ○ 合唱や合奏音の重なりを感じ互いに聴き合って合わせようと努力することができる。 ▲1 どのように表現したいか思いをもち、言葉で表現することが苦手な児童もいる。 ▲2 演奏技能には個人差がある。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▲1に対する指導上の課題 自分の思いや意図をもって音楽をつくり上げ、表現して伝えていく学習が十分ではない。 ▲2に対する指導上の課題 演奏技能に課題のある児童への個別の対応が十分ではない。
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▲1に対する具体的な方策 <ul style="list-style-type: none"> ➡授業の振り返りをする中で何を学んだかを考え、次の学習での自分の課題について考えることができるようにする。 ➡2人組やグループ活動で課題に取り組んだり、一人一台端末を活用してそれぞれの思いや演奏を共有したりする活動を取り入れ、一人一人の考えが深まっていくことにつながるようにする。 ➡学習したことがつながるように鑑賞や歌唱、器楽、音楽づくりなどで学ぶ内容で共通することを関連させ以前に学習したことを生かして活動できるようにする。 ▲2に対する具体的な方策 <ul style="list-style-type: none"> ➡分かりやすい板書の工夫をし、視覚的に何を学ぶか児童が分かるようにする。 表現の技能について、個々の習熟度に合わせた活用を設定したり、個別指導の方法を工夫したりする。 ➡一人一台端末を活用し、それぞれが自分の演奏を振り返って自分の課題について考え練習する活動を取り入れる。 ➡協働学習を取り入れ、お互いに学び合うことで学習したことの定着を図る。 ➡スモールステップでの学習で児童が達成感を味わい、学習に積極的に取り組めるようにする。

【令和5年度 授業改善推進プラン】(家庭科)

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<p>○ 裁縫の学習においては、男女問わず興味をもって技能習得しようとする児童が、休み時間も家庭科室を訪れ、裁縫の作品制作を楽しんでいる姿が見られる。</p> <p>▲1 学習課題が自分の生活をよりよくすることに結びついていない児童が多い。</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1に対する指導上の課題</p> <p>家庭科の学習を自分に関わることと捉えられるようにすることができていない。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡生活をよりよくしようと工夫する力を身に付けるために洗濯や掃除、調理など生活の振り返りをして、自分の力で解決しようとするができるようなワークシートや資料を用意する。 ➡板書や資料をもとに、児童同士が学び合えるように促す。 ➡これまでの技能を生かし、新たな技能を習得する喜びを味合わせる。また、習得した技能を使い、よりよい生活に生かす満足感を味合わせる。

【令和5年度 授業改善推進プラン】(図画工作)

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<p>▲1 構成力や造形力がある児童が多いが、既成概念が強く発想力が弱い児童もいる。つくりながら発想し何度も自分なりに新しく生み出す力や経験が十分でない。</p> <p>▲2 表現では発想力や構成力の高い児童も多い。鑑賞では、感じたことを文章で表すことができる児童はいるが、造形的な観点での語彙を使える児童は多くない。</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1に対する指導上の課題 既習の学習で、素材体験や道具の組み合わせ、表現の幅を広げる経験をさせることが不十分である。</p> <p>▲2に対する指導上の課題 鑑賞する時の造形的な観点(感じたこと・イメージ・色や形のこと・気持ちなど)を意識して言葉や文章に表せるような手だてが不十分である。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡創造的な技能や発想・構想の能力を高めるために素材体験や造形遊びなど、表現の幅を広げる経験を増やしたり、素材や表し方が普段と異なる方法を例示したりする。 〔例〕4年 モダンテクニックを学び、筆を使わない絵の具の描写をたくさん試す題材 5年 パスの色合いを重ねたり削ったりして発想したものを表す題材 ➡身体感覚(五感)を通して思考する経験を題材に設定する。 〔例〕2年 とろとろ絵の具を触った感じから発想して自由に描く題材 3年 透明のラミネート紙を揺らしたり垂らしたりくっつけたりして立体構成する題材 6年 焼き物粘土の手触りを感じて手のひらや指先で撫でながら、使いたい大きさの抹茶茶碗をつくる題材 <p>▲2に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡鑑賞の能力を高めるために鑑賞を促す造形的な語彙をいくつか提示して、感じ取る力(洞察力や感性など)や、言葉でイメージや感じたことを伝える力を高める。

【令和5年度 授業改善推進プラン】（外国語）

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<p>○ 英語の音声やチャンツを聞いて物の名前を英語で答えたり、大まかな内容を捉えたりすることに意欲的な児童が多い。</p> <p>▲1 自分のことや身近な事柄について、例文を参考に、簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに苦手意識がある児童が多い。</p> <p>▲2 英語を話すことに対して意欲的な児童とそうでない児童の差がある。</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1 に対する指導上の課題 英単語や英文を書く時間を十分とれていない。</p> <p>▲2 に対する指導上の課題 児童が Chromebook にインストールされているデジタル教科書を使って英語の歌を練習することはできるが、より活用を促進することができていない。 一人ひとりが何度も繰り返し発語する時間が十分にとれていない。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1 に対する具体的な方策 ➡ 1 単位時間の中に、短い英文を書く時間を 10 分間程度、毎回設定する。</p> <p>▲2 に対する具体的な方策 ➡ 児童用の Chromebook を活用し、家庭でもデジタル教科書の音声などを聞くよう指導し、家庭学習でも外国語に触れる機会を増やしていく。 ➡ ペアワークの時間をより多くとり、全体の場で発語するのが苦手な児童にも、一人ひとりの発語の時間を増やす。</p>

【令和5年度 授業改善推進プラン】(特別の教科道徳)

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<p>○ ほとんどの児童が、資料の登場人物の気持ちを考えノートに書くことができる。</p> <p>▲1 自分の考えを積極的に発表する児童がいる一方で、なかなか発表できない児童も多く、発表する児童が一部の児童に偏ってしまう。</p> <p>▲2 展開後段で、資料を基に授業で話し合ったことを日常生活と結び付け、自分の生活を振り返ることができる児童が少ない。</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1に対する指導上の課題 自分の考えを発表するだけになってしまいがちで、友だちの考えにつなげて発表させる機会が少ない。</p> <p>▲2に対する指導上の課題 コロナ禍の影響で、地域や人と関わる生活体験が少ない児童が多く、テーマによっては、ねらいに沿った振り返りをさせることが難しいものもあった。 低学年児童は特に、生活経験が少ないためにねらいに沿った振り返りをさせる力を身に付けさせる必要がある。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡全ての児童が自分の考えをもてるよう、机間指導をして困っている児童に支援する。 ➡様々な教科の指導を通して発表しやすい学級の雰囲気をつくる。 ➡全体での話し合いの前に、ペアやグループでの話し合いを取り入れ、自信をもって発表できるようにする。 <p>▲2に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡振り返りを充実させるために日頃の児童の実態を捉え、授業にどのように結び付けられるかを考える。 ➡振り返りをする前に、教材と似た学校生活の場面を具体的に話したり、自分の生活やこれまでの経験を想起しながら考えるように伝えたりする。

【令和5年度 授業改善推進プラン】（総合的な学習の時間）

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心のあるテーマに対して学ぶ意欲が高く、調べたり、まとめたりする力も高い児童が多い。 ○ 自分たちで話し合いを進めようとする意欲が高い児童が多い。 ▲1 過去に上級生の活動を見たことがあるものについてのイメージをもっているが、関連付けたり発展させたりして活動を設定することが難しい。
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1に対する指導上の課題 活動を定めるために必要な資料等の提供ができていない。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡児童の興味・関心が高まるような資料やゲストティーチャーの授業ができるよう、昨年度までの情報を確認するとともに先を見通して年間計画に入れ、外部との連携をとる。 ➡学校図書館司書と連携して、関連する本を選定してもらう。

【令和5年度 授業改善推進プラン】（生活科）

板橋区立志村第一小学校

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動では、一人一人の思いや願いをもちながら活動することができる。 ○ 興味と親しみをもって野菜の栽培や、生き物の飼育活動を行い、わかったことや気付いたことをまとめ、発表することができる。 ○ 町探検の前段階として、身近な地域について思い出して発表することができる。 ○ 記録カードに書いたり、話し合いをしたりするなど、表現することができる。 ▲1 動植物に親しむ経験の希薄さから、思考して表現することに苦手意識をもつ児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<p>▲1に対する指導上の課題 動植物に親しむ機会を十分に確保できていない。</p>
<p>授業改善についての具体的な方策</p>	<p>▲1に対する具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ➡毎日の休み時間等で校庭に出て、自由に体験活動を行う時間を確保する。 ➡季節ごとに、めあてに沿って動植物を観察する時間を確保する。 ➡教室内で動植物を育て、愛着をもたせたり変化に気付かせたりできる環境を整える。